第十一号の二様式(第七条の二関係)



確認申請書 (新築) 増築・改築/既存) (第一面)

F 月 日

登録住宅性能評価機関

殿

申請者の住所又は 主たる事務所の所在地

東京都八王子市△△4丁目5-6

申請者の氏名又は名称

00 00

代表者の氏名

住宅の品質確保の促進等に関する法律第6条の2第1項の規定に基づき、本申請に係る住宅の構造及び設備が長期使用構造等(長期優良住宅の普及の促進に関する法律(平成20年法律第87号)第2条第4項に規定する長期使用構造等をいう。)であることの確認を行うことを求めます。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実に相違ありません。

※受付欄				<b>*</b> **		
	年	月	目			
第			号			
申請受理者氏名						

#### (注意)

- 1. この様式において、「既存」とは、本申請が、長期優良住宅の普及の促進に関する法律第5条第6項又は第7項の規定による認定の申請に係るものであることを指します。また、「一戸建ての住宅」は、人の居住の用以外の用途に供する部分を有しないものに限り、「共同住宅等」とは、共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅をいいます。
- 2. 共同住宅等に係る申請にあっては、第三面を申請に係る住戸(認定を求める住戸)ごとに作成してください。
- 3. 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
- 4. ※印のある欄は記入しないでください。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4としてください。

#### 特記事項

以下の表示を希望します。

□ 表示しない(耐震等級1)

(第二面:長期優良住宅の普及の促進に関する法律第5条第1項から第5項までの規定による 認定の申請をしようとする場合)

1. 建築をしようとする住宅の位置、構造及び設備並びに規模等に関する事項 [建築物に関する事項]

【1. 地名地番】	東京都八王子市	ħ⊚⊚1	丁目2	-3			
【2. 名称】							
【3. 敷地面積】	318. 24	m²					
【4. 工事種別】	√ 新築		<del>]</del>	増築・改築			
【5.建築面積】	82.81	m²					
【6. 床面積の合計】	134. 98	m²					
【7. 建て方】	☑ 一戸建ての	住宅		□ 共同信	E宅等		
   【共同住宅等の場合	・仕事の粉】		建築	物全体		戸	
大円住宅寺の場合	:任戸の剱】		申請	対象住戸		戸	
【8. 区分所有住宅の該	当の有無】		<b>√</b> ∮	無	□ 有	Ī	
【9. 建築物の高さ等】							
【最高の高さ】	8.3	320					
【最高の軒の高さ】	6. 3	320					
【階数】	(地上)	2	階	(地下)	0	階	
【10. 構造】		木		造		一部	造
【11. 長期使用構造等に	係る構造及び設備	備の概	要】	別添割	2計内容	京説明書による	
【12. 建築に関する工事	の着手の予定年	月日】					
	xxxx 年	XX	月	xx 目			

#### (注意)

- 1. 【4. 工事種別】及び【7. 建て方】の欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- 2. 【8. 区分所有住宅の該当の有無】の欄は、【7.建て方】の欄において、「共同住宅等」のチェックボックスに「レ」マークを入れた場合は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- 3. 【13. 認定申請予定日】については、長期優良住宅の普及の促進に関する法律第5条第1項から第5項までの規定による認定申請予定日を記載してください。
- 4. この面は、建築確認等他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

# 設計内容説明書【一戸建ての木造軸組住宅用】

建築物の名称	○○様邸新築工事
建築物の所在地	東京都八王子市◎◎1丁目2-3
設計者氏名	株式会社〇〇建設一級建築士事務所 〇〇 〇〇
審査員氏名	

初少去否	A-A-	確		認					設計内容説明欄 ※	_		設計内容
認定事項	寺	項		目	項		目		設計内容	Ī	記載図書	確認欄
1. 構造躯	体	外	壁	の	外	壁の構	造		外壁の構造 (■ 通気構造等 □ その他 )	■ 仁	上上表	
等の劣	化	軸	組	等	(地	面から	1 m)			<b>■</b> 0	区分	
対	策							•	柱 [■製材 (樹種 桧 )	■ 矢	巨計図	
									□ 集成材等 ( 樹種 ) ]			
									小計 ( 105mm、120mm )			
									薬剤処理 [ ■ 有 ( 方法 薬剤処理(現場塗布) ) □ 無 ]			
								•	柱以外の軸材 [ ■ 製材 ( 樹種     桧、杉、米松 )			
									□ 集成材等 ( 樹種 ) 〕			
									薬剤処理 [ ■ 有 ( 方法 薬剤処理(現場塗布) ) □ 無 ]			
								•	構造用合板等の種類 ( 構造用合板 )			
									薬剤処理 [■有 (方法 薬剤処理(現場塗布)) □無]			
		土		台	防	腐・防	蟻	•	土台に接する外壁下端水切り ( ■ 有 □ 無 )	■仁	上上表	
					処		理	٠	土台の樹種 (	<b>■</b> 0	区分	
									薬剤処置 [ □ 有 (方法 ) ■無]	■ 矢	巨計図	
		地		盤	防	蟻 措	置	•	防蟻措置 ( ■ べた基礎等 □ 土壌処理 □ その他 )	■ 矢	巨計図	
									土壌処理方法 [ □ 有 (方法 ) ■ 無 ]			
		浴	室・脱	衣	防	水	上	•	浴室 ( ■ 浴室ユニット □ 防水上有効な仕上げ	<b>■</b> 1	上上表	
		室	の防	水	の	措	置		□ その他の防水措置 □ 防腐措置 )			
									方法 (			
								•	脱衣室( 🗌 防水上有効な仕上げ 📕 その他の防水措置			
									□ 防腐措置 )			
									方法: ( 構造用合板一類+フローリング )			
		基	礎 高	さ	基	礎 高	さ	•	地面から基礎上端又は土台下端までの高さ		上上表	
									$\left( \begin{array}{cc} 400 & \text{mm} \end{array} \right)$	■ 矢	巨形図	
		床	下防	显•	防	湿方	法	•	防湿方法 [ ■ コンクリート ( 厚さ 180 mm)	一言	算書	
		换	気 措	置					□ 防湿フィルム (厚さ mm) ]		上上表	
									防湿フィルムの場合の材料 ( )	■ 基	基礎伏図	
					換	気 措	置		基礎部の開口 (換気口の設置間隔 mm)	<b>美</b>	巨形図	
									(開口高さ mm、幅 mm)			
									ねこ土台 (有効面積 $75~{ m cm}^2/{ m m}$ 、高さ $20~{ m cm}$ )			
		小	屋	裏	小	屋裏換	复気	•	換気口位置 (給気口_1階・2階:軒先、排気口_1階:ケラバ・軒先、2階:棟)		上上表	
		换		気	措		置	•	換気口の面積の天井面積に対する割合	<u> 7</u>	五面図	
									( 1階: 給気口1/250以上、排気口1/250以上、2階: 給気口1/900以上、排気口1/1600以上 )			
		点	検 空	間	床	下 措	置	•	床下空間への設置 点検口 ( ■ 有 □無 )	_		
		の	確	保					床下有効高さ ( 330 mm)	7	2面図	
					小	屋裏推	計置	•	小屋裏空間への設置 点検口 ( ■ 有 □ 無 )	■ 矢	巨計図	

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

おみまでは	確		認				設計内容説明欄 ※		設計内容
認定事項等	項		目	項		目	設計内容	記載図書	確認欄
2. 耐 震 性	検	証 方	法	地意	震力 凡	をび	■ 壁量計算(仕様規定) □ 太陽光発電設備等を設置する	壁量計算書	
				風月	王力し	こ関	□ 許容応力度等計算		
				す	る検	証	□ 限界耐力計算		
							□ その他 ( )		
	耐	力	壁	筋	交	V)	・種類 ( ダブル筋交い ) 寸法 ( 45×90 )	□ 構造伏図	
				耐	力	壁	•種類 (   寸法 (	□ 矩計図	
				木扌	習耐フ	力壁	·種類 ( 寸法 ( )	■耐力壁図	
							·間隔 ( )	■ 壁量計算書	
				面材	オ耐ァ	力壁			
							·面材厚さ ( 12 mm) 倍率 ( 2.5 )		
	_						·釘種類 ( N50 ) 釘間隔 ( 150 mm)		
	準	耐力	壁				·種類 ( ) 寸法 ( )	□ 構造伏図	
				_	耐力			□ 矩計図	
				面材	オ耐ラ	力壁		□ 仕上表	
							<ul><li>・面材厚さ ( mm) 倍率 ( )</li></ul>		
							• <b>釘種類</b> ( ) <b>釘間隔</b> ( mm)		
	床	組	等	火力	打ち権	ち 由	<ul><li>・種類 ( 火打金物HB )</li></ul>	■構造伏図	
							・隅長 ( 取合梁成 ( 105mm以上 )	□ 矩計図	
					-111-		・火打ち構面位置 (1階小屋面、2階小屋面 )	□ 仕上表 ■	
				2	階 床	血	<ul><li>・面材の種類 ( 構造用合板24mm )</li></ul>	■ 床倍率計算表	
							・根太間隔 ( なし mm) 工法 (直張94周釘打 <sup>t</sup> )		
			-		766		· 釘種類 ( N75 ) 釘間隔 ( 150 mm)	1	
				3	谐 床	ഥ	一面材の種類()		
							·根太間隔 (		
							· 釘種類 ( ) 釘間隔 ( <u>mm</u> )	-	
				小	座 床	囬	<u>・面材の種類</u> ( )		
							·根太間隔 (		
		-Lm	_		10 H	. T*T	· 釘種類 ( ) 釘間隔 ( mm)	- Acalica	
	屋	根	囬				·勾配 ( 5寸 )	■ 矩計図 ■ #**# // 図	
				座	(水) (特)	田	<ul><li>・面材の種類 ( 構造用合板12mm )</li><li>・ カナリア ( まず) )</li></ul>	■構造伏図	
							・垂木間隔 ( 455 mm) 工法 ( 転ばし )	□ 仕上表 ■ BB ■ A	
							•釘種類 ( N50 ) 釘間隔 ( 150 mm)	壁量計算書	

ł	接合	部	筋っ	交い	端部	・接合部の仕様	■ 構造伏図	
				0)		( 筋交いプレートBP-2同等認定金物 )	■ 接合部チェック図	
			接	合	部	(	■ N値計算表	
			柱朋	却・柱	頭の	・柱脚・柱頭の接合部の検証方法		
			接	合	部	□ 平成12年建設省告示第1460号(仕様規定)		
						■ N値計算法		
						□ 許容応力度等計算		
						□ その他( )	<u> </u>	
			横	架		・接合部の仕様		
			接	合	部	( 腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け+羽子板ボルト又は短冊金物 )		
			n= -	44 n 1	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	(		
			l			<ul><li>接合部の仕様</li></ul>		
			仕し	カ 接	合部			
-	 基	Z**	# Z	** の	武 士	<ul><li>( かたぎ大入れ短ほぞ差し+羽子板ボルト又はかね折り金物 )</li><li></li></ul>	■ 基礎伏図	
2	45	1)疋	巫 1	定り	110 11	□ その他( )	■基礎詳細図	
			<del>\</del> \ \ \ \ \ \ \	生 乃	てド 西戸	■ スパン表による	■ 基礎評細区	
						(種類: (財)日本住宅・木造技術センター発行)	□ 無起区区 □ 矩計図	
			方	4 -/		許容応力度計算による		
			-			□ その他 ( )		
			ア	ン カ	<del>5</del> —	・品質 ( Zマーク金物 )	†	
						・埋め込み長さ( M12:250mm、M16:360mm、510mm )		
						・位置・間隔 ( 耐力壁柱脚、土台端部、2.73m以下の間隔 )		
ŧ	横架	材	寸剂	去 及	び配	■ スパン表による	□ 構造計算書	
			筋勻	等の	検証	(種類:(財)日本住宅・木造技術センター発行)	■構造伏図	
			方		法	□ 許容応力度計算による		
L						□ その他 (		
ß	限 界	耐力	Ŧ,	生 及	び配	□ 地上部の各階の安全限界変形の当該階の高さに対する割合が	□ 構造計算書	
į	計算の	場合	筋勻	等の	検証	1/40以下であることを確認	□ 構造伏図	
			方		法	□ 各階の変形をそれぞれ当該階の安全限界変形の75%以下であることを確認		
						□ 等級2,3、かつ地上部の各階の安全限界変形の当該階の		
L						高さに対する割合が1/30以下であることを確認		
	诗刻歴		_	_		□ 平成12年建設省告示第1461号第1号から第5号までに定める構造計算	□ 構造計算書	
Á	解析	計算		_	_	により安全性を有することを確認	□ 構造伏図	
						□極めて稀に発生する地震による力に対して、各階の応答層間変形角が		
						1/100以下であることを確認		
						□ 建築基準法施行令第36条第2項第2号に規定する耐久性等関係規定 (金第20条第1項形式第70条の担定ない分)に第分している。		
+	免震	中 公				(令第39条第1項及び第70条の規定を除く)に適合している	□ ##\#.≥I./☆ =b-	
-	鬼 震り物 のは	<u> </u>				<ul><li>□ 免震建築物</li><li>□ 平成12年建設省告示2009号第1第3号による規定</li></ul>	□ 構造計算書 □ 計画書	
4	190 V) -	勿 合	_	\	_	□ 十成14十建取目百小2009万弟1弟3万による規止	□ 計画書□□ 配置図	
						・同告示第2の該当する号		
						・一方で第20該当りる方		
						<ul><li>□ 一号(社) 元建業物)</li><li>□ 二号(建築基準法20条第二号に掲げる建築物)</li></ul>		
						□ 三号(時刻歴応答解析を行い大臣認定を取得)		
						□ □ 7 (阿列坦心管所刊 CT) 《人产贮足飞取针》		
						・免震層、免震材料の維持に関する計画		
						□ 免震材料等の維持管理に関する計画		
						□ 敷地の管理に関する計画		
						E WAS A CHANNEL		

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

# 設計内容説明書【一戸建ての木造軸組住宅用】

認定事項等	確	認		設計內容説明欄 ※	記載図書	設計内容
<b>祁</b> 化尹垻守	項	目	項目	設計內容	<b>正</b> 取凶者	確認欄
3. 可変性						
				(一戸建ての住宅のため該当なし)		
4. 維持管理	専	用配管	コンクリート	<ul><li>・排水管 ( ■ 無 □ 有 )</li></ul>	□ 仕上表	
更新の容易性			内埋込み配管	· 給水管 ( ■ 無 □ 有 )	■ 平面図	
(専用配管)				<ul><li>・ 給湯管 ( ■ 無 □ 有 )</li></ul>	□ 矩形図	
(ガス管を除く)						
	地	中埋設管	地中埋設管上	<ul><li>・排水管 ( ■ 無 □ 有 )</li></ul>	□ 仕上表	
			のコンクリート	· 給水管 ( ■ 無 □ 有 )	■ 平面図	
			打 設	<ul><li>・ 給湯管 ( ■ 無 □ 有 )</li></ul>		
				□ 条例等の規定により凍結防止のための配管埋設が定められている地域		
	専	用排水菅	排水菅の	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	□配置図	
			清 掃 措 置	[ ■ 排水ますに隣接 □ 掃除口 ■ 取り外し可]	■ 平面図	
				・ その他の水まわり		
				[ ■ トラップ □ 掃除口 □ 露出又は開口有]		
	排	水菅の形状 継手及び	排水菅等の	■ 平滑である (仕様等 VP管溶着 )	□ 仕上表	
		ルゲーを含	内 面	□ その他 ( )	平面図	
	む)		設置状態	■ たわみ、抜け等が生じないように設置		
				措置 ( 支持金物による )		
				□ その他 ( )		
	配	管点検口	主要接合部	・排水管と設備機器の接合部	■ 平面図	
			等の点検措置	[■露出 ■開口有 ■その他 (取り外し可 )]		
				・ 給水管と設備機器の接合部		
				[■露出 ■開口有 □その他( )]		
				・ 給湯管と設備機器の接合部		
				[■露出 ■開口有 □その他( )]		
				・ 給水管とバルブ及びヘッダー		
				[ □ 露出 ■ 開口有 □ その他( )]		
				・ 給湯管とバルブ及びヘッダー		
				[ □ 露出 ■ 開口有 □ その他( )]		
5. 高齢者等						
対 策				(一戸建ての住宅のため該当なし)		

<sup>※</sup>この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

# 設計内容説明書【一戸建ての木造軸組住宅用】

	371 A	·	T leke	確	認			設計内容説明欄 ※	27 #V FOJ = 14.	設計内容
i	認定	争」	頁等	項	目	項	目	設計内容	記載図書	確認欄
6.	省	エ	ネル				- る 基 準	■ 非住宅・住宅計算方法	■計算書	
			寸 策	す	る基 進			■ 標準計算法	■ 仕上表	
			点 等	-	4=			□誘導仕様基準	■ 平面図	
_					皮・	非住宅•住	外皮平均	■ 外皮平均熱貫流率 (U <sub>A</sub> 値)の基準に適合	■ 立面図	
	. ,,_		.,,,,,	開	П	宅計算力	熱貫流率	The state of the s	■ 矩計図	
拙	城	$\sigma$	区分		の断 性		外皮平均	■ 冷房期の平均日射熱取得率(ηAC値)の基準に適合	■ た	
			) )	싶는			日射熱取	TIDDAMON TO FAIRWAND 中( ) ACIED VA ACIED I	□ <del>建</del> 类数	
		U	,			該導化均	得 率 外皮の断	□ 外皮の熱貫流率の基準に適合 □ 緩和措置有り(外気床(5%緩和))	-	
							熱性能等	□ 外及の然真加率の基準に適合 □ 緩和指置有り(外気床(5%緩和)) □ 緩和措置有り(外気床(5%緩和))		
							開口部の	□ 構造熱橋部の基準に適合(鉄筋コンクリート造等のみ) □ 開口部の断熱性能等に関する基準に適合	-	
							断熱性能			
							等	□ 緩和措置有り □ 探の間に対 □ 探の日本 (40)(電子)		
				绘士	雷	生電の 整	<b>井</b>   上 計	□ 窓の断熱(2%緩和) □ 窓の日射(4%緩和)		
				結防	路止	お路の発	生防止对束	■ 防湿層の設置(繊維系断熱材等を使用する場合)		
					策			■ 設置 ( 防湿フィルム )		
								□ 省略 ( )		
								□ 通気層の設置(外壁・屋根を断熱構造とする場合)		
								□ 屋根 [□ 有 ( )□ 省略 ( )]		
								・ 防風層の設置 (		
								■ 外壁 [ ■ 有 ( 通気層 ) □ 省略 ( ) ]		
ļ								・ 防風層の設置 ( 透湿防水シート )		
[	— <i>V</i>	エフ	ネル	適上	用マサ	適用す	~る 基 準	■ 非住宅·住宅計算方法	■ 仕上表	
			肖 費	3	る基 進			■ 誘導仕様基準	計算書	
量	: 4	至 ;	級	}i	次工	非住宅・住	外皮性能	・ 外皮平均熱貫流率(UA値) ■ 一次エネルギー消費量計算	面積表	
					ル 一消	宅計算力 法	値	<ul> <li>冷房期の平均日射熱取得率(η<sub>AC</sub>値) 結果による</li> </ul>	平面図	
					量			・ 暖房期の平均日射熱取得率(η <sub>AH</sub> 値)	□ 機器表	
							居室等の	・ 合計の床面積	□ 系統図	
							面積	・ 主たる居室 結果による		
								・ その他の居室		
							一次エネル	・ 基準一次エネルギー消費量 一次エネルギー消費量計算	1	
							ギー消費量	<ul><li>・ 設計一次エネルギー消費量 結果による</li></ul>		
							設備機器	■ 一次エネルギー消費量計算結果による		
							等の仕様			
					•	誘導仕様	暖房設備	・ 暖房方式 ( )		
						基準		・暖房機器の仕様等		
								(		
							冷房設備	<ul><li>・ 冷房方式 ( )</li></ul>	1	
								・冷房機器の仕様等		
								(		
							換気設備	<ul><li>・ 熱交換換気設備の有無</li></ul>	-	
								<ul><li>・ 換気機器の仕様等</li></ul>		
								( )		
							照明設備	□ 全ての照明設備がLED又は同等以上	-	
							, /4 BA VIII	□ エ〜ハルル Will Will Min Trans All 中の 3		
							給湯設備	□ 給湯熱源機の種類等 ( )	1	
							107 BA VIII	・ 所定の省エネ対策の実施		
								□ ヘッダー方式 分岐後配管径13A以下		
								□ 浴室シャワーの節湯水栓の使用		
L						1	1	□ 高断熱浴槽の採用	J	

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。